

2019年4月26日
コ マ ツ
No.017(2852)

新たな中期経営計画（2019-2021年度）

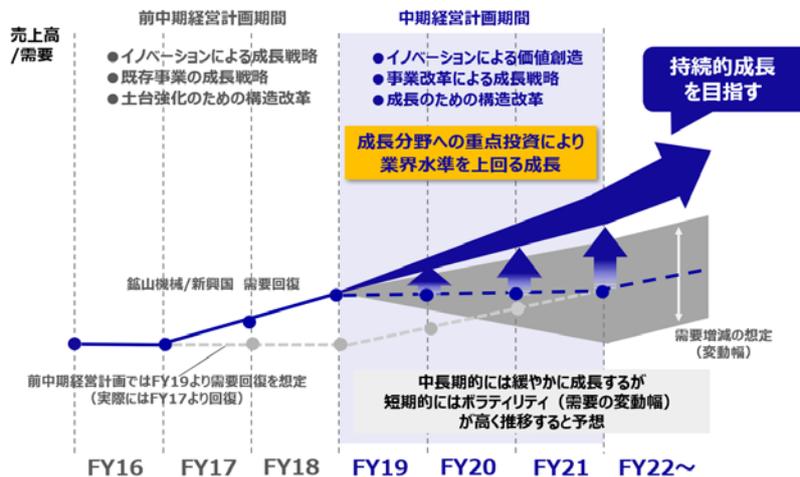
「DANTOTSU Value — FORWARD Together for Sustainable Growth」をスタート

コマツ(社長：小川啓之)は、2021年の創立100周年とその先の成長を目指し、新たな3カ年の中期経営計画(2019-2021年度)「DANTOTSU Value — FORWARD Together for Sustainable Growth」を本年4月よりスタートしました。新たな中期経営計画では、成長戦略による収益向上とESG課題解決の好循環で持続的成長をはかり、コマツの「経営の基本」である「品質と信頼性」を追求し、「企業価値」である、我々を取り巻く社会と全てのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化することを目指します。

建設・鉱山機械の需要は、2013年頃より資源価格の低迷や新興国の成長鈍化により調整局面が続きましたが、前中期経営計画(2016-2018年度)策定時の想定よりも早く、2017年から回復基調となりました。このような環境の下、コマツは企業体質の強化に取り組みながら需要を着実に取り込むとともに、コマツマイニング(株)(以下、KMC)をグループに加え、前中期経営計画最終年度の2018年度は2年連続の増収増益とともに過去最高の売上高・利益となりました。

世界では保護主義や多極化、気候変動への意識がますます高まっています。外部環境が大きく変化する中、建設機械・車両部門では、建設・鉱山機械の需要は中長期的には緩やかな成長が見込まれるものの、短期的にはボラティリティ(需要の変動幅)が高く推移すると予想されます。産業機械他部門では、自動車業界向けの需要はEV化進展等による産業構造変化が見込まれ、半導体業界向けは中長期では確実に成長するものの、一時的な調整局面が予想されます。

《成長戦略3本柱への重点投資による持続的成長》

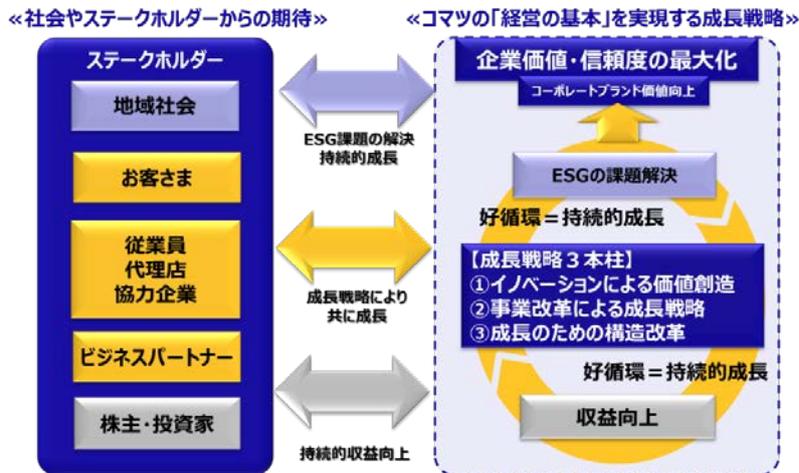


今回の中期経営計画においては、新たな3つの成長戦略として、①イノベーションによる価値創造、②事業改革による成長戦略、③成長のための構造改革を掲げます。そして、これら成長戦略3本柱の考えに基づいた成長分野への重点投資を優先的に行い、需要の変動に左右されず、収益向上とESGの課題解決の好循環による持続的成長を目指します。

お問い合わせ先：コマツ コーポレートコミュニケーション部

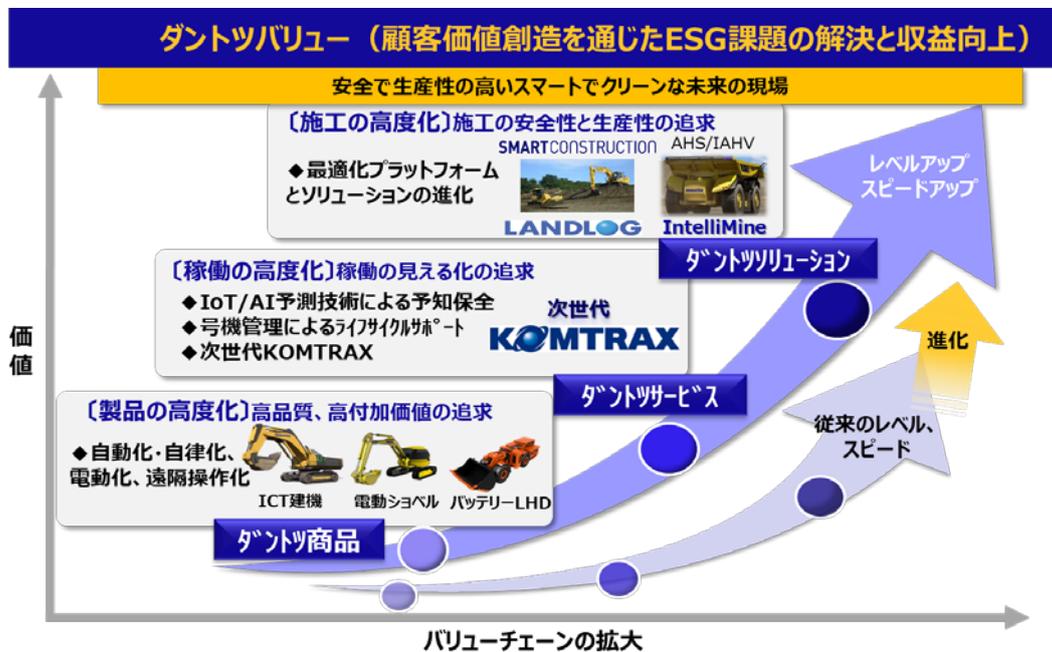
〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://home.komatsu.jp/
ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

《中期経営計画の概念・考え方》



成長戦略3本柱を推進するため、これまでコマツが取り組んできた「ダントツ商品・ダントツサービス・ダントツソリューション」を、更にスピードをあげて進化・レベルアップさせ、「ダントツバリュー（顧客価値創造を通じた ESG 課題の解決と収益向上）」により、安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場をお客さまと共に実現し、気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高効率な商品・サービス・ソリューションの提供などの本業を通じて ESG 課題の解決を図ります。

コマツは、お客さま、代理店、パートナー、地域社会、そして私たちすべての世界の現場をダントツでつなぐことで、持続的成長を目指してまいります。



お問い合わせ先：コマツ コーポレートコミュニケーション部

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://home.komatsu.jp/
 ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

【経営目標】

経営目標については、前中期経営計画で掲げた、業界トップレベルの「成長性」、「収益性」、「効率性」、「健全性」を継続しながら、新たに「ESG」の経営目標を設定しました。成長戦略への重点投資を優先しながら、「株主還元」については引き続き安定的な配当の継続に努め、連結配当性向を40%以上とする方針とします。

	経営指標	経営目標
成長性	・ 売上高成長率	・ 業界水準を超える成長率
収益性	・ 営業利益率	・ 業界トップレベルの営業利益率
効率性	・ ROE	・ ROE 10%以上
健全性	・ ネットD/Eレシオ	・ 業界トップレベルの財務体質
リテール ファイナンス 事業	・ ROA ・ ネットD/Eレシオ	・ ROA 1.5%–2.0% ・ ネットD/Eレシオ 5倍以下
【新設】ESG	・ 環境負荷低減 ・ 外部評価	・ 環境負荷低減 CO ₂ 排出削減：2030年50%減（2010年比） 再生可能エネルギー使用率：2030年50% ・ 外部評価：DJSI*選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP** アリスト選定（気候変動、水リスク）等
株主 還元	・ 配当性向	・ 成長への投資を主体としながら、株主還元（自社株買いを含む）とのバランスをとる。 ・ 連結配当性向を40%以上とする。

* ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディセーズ：米国 S&P ダウ・ジョーンズ社とスイスのロベコ・サム社による SRI 指標。

**企業や政府が温室効果ガス排出量を削減し、水資源や森林を保護することを推進する国際的な非営利団体。

【成長戦略3本柱と重点活動】

コマツを取り巻く外部環境や課題に対し、成長戦略3本柱 ①イノベーションによる価値創造、②事業改革による成長戦略、③成長のための構造改革 を推進し、持続的な成長を目指します。

① イノベーションによる価値創造

品質と信頼性を追求するコマツのものづくりの技術をベースに、コマツグループ内で得られない技術は積極的に取り入れることで、安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場を創造するためのイノベーションを起こしていきます。

建設現場向けには、デジタルトランスフォーメーションに対応した、オープンプラットフォーム「LANDLOG」、自律、協調など高度化した ICT 建機、生産技術を活用し施工を最適化する施工シミュレーションの開発を強化し速やかに市場拡大を図り、「スマートコンストラクション」をグローバルに推進していきます。ユーティリティにおいては、スピードを上げて、電動化建機を市場導入してまいります。

鉱山現場向けでは、新しく最適化プラットフォームをオープンイノベーションも活用し構築するとともに、本年4月に新設した鉱山向け無人ダンプトラック運行システム (Autonomous Haulage System 以下、AHS) を専門に扱う組織「AHS Center of Excellence」を、将来的にマイニングソリューションを統括する組織へ発展させることを目指します。

お問い合わせ先：コマツ コーポレートコミュニケーション部

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://home.komatsu/jp/
ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

また、農林業向けには、スマートコンストラクションのノウハウを活用し林業全体を効率化するスマート林業の提案や、ICT 農業用建機の商品化・事業化を目指すとともに、アジアを中心に海外展開を推進していきます。

② 事業改革による成長戦略

建設機械・車両部門においては、新商品の開発、生産、販売に加え、部品の供給やサービス活動、レンタル・中古商品の循環事業およびリテールファイナンス事業などで構成するバリューチェーンビジネスを強化し、「アフターマーケット事業の再定義」を行います。次世代 KOMTRAX 導入によるアプリケーション拡大や、IoT/AI 予測技術による予知保全、号機管理の導入、次世代キーコンポーネントの開発により、新車から廃車までのライフサイクルサポート（生涯保証）の実現を目指します。

2017 年 4 月以降推進してきた KMC の統合活動においては、主力工場や地域オペレーションの再編、サプライチェーンの最適化などを更にスピードをあげて推進し、より大きなシナジー効果の創出を狙います。また、コマツと KMC の技術開発力・ノウハウを融合させることで、お客さまの現場の安全・生産性向上に寄与する商品・ソリューションを開発するとともに、坑内掘りハードロック事業の市場でのポジション向上を図ります。

また、新興国をはじめとする成長市場においては、各国で異なる市場環境や構造変化に対応するため、基盤となる代理店力の育成、バリューチェーンの強化と拡大、砕石・セメント、農業、林業分野の強化、フルラインナップメーカーとしての強みを生かした施工方法の提案などにより、市場におけるプレゼンス向上を目指します。

産業機械他部門では、建設機械・車両部門とのシナジー効果や新商品開発により、板金鍛圧・工作機械事業において EV 化進展等による産業構造変化に取り組むとともに、半導体市場向けでは、コア技術を活かした更なる成長を、スピードを上げて推進していきます。

③ 成長のための構造改革

生産部門では、労働力不足に対応した次世代工場化を進めるとともに、地球環境・作業環境に配慮した「環境・作業負荷ゼロ工場」の実現により、生産による CO₂ 排出量は 2030 年に 50%減（2010 年比）、使用電力における再生可能エネルギー使用率は 2030 年に 50%の目標に向けて取り組みます。

メーカーであるコマツの強みの源泉となる、商品・サービス・ソリューションの開発では、本年 4 月より組織構造改革を行うとともに、モデルベース開発の推進や最新先端技術情報の収集とネットワーク構築によるオープンイノベーションにより、スピードを上げて新しい価値を効率的に開発する体制を整えます。

また、グローバル経営の進展を背景に、人材育成および人材確保の多様化・グローバル化を進め、ダイバーシティの継続的な推進など「グローバルに多様な人材がひとつのチームとして事業の成長に貢献できる環境」の実現を目指します。

以上

お問い合わせ先：コマツ コーポレートコミュニケーション部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://home.komatsu/jp/
ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。